

# 大阪経済の情勢

## (2019年1月指標を中心に)

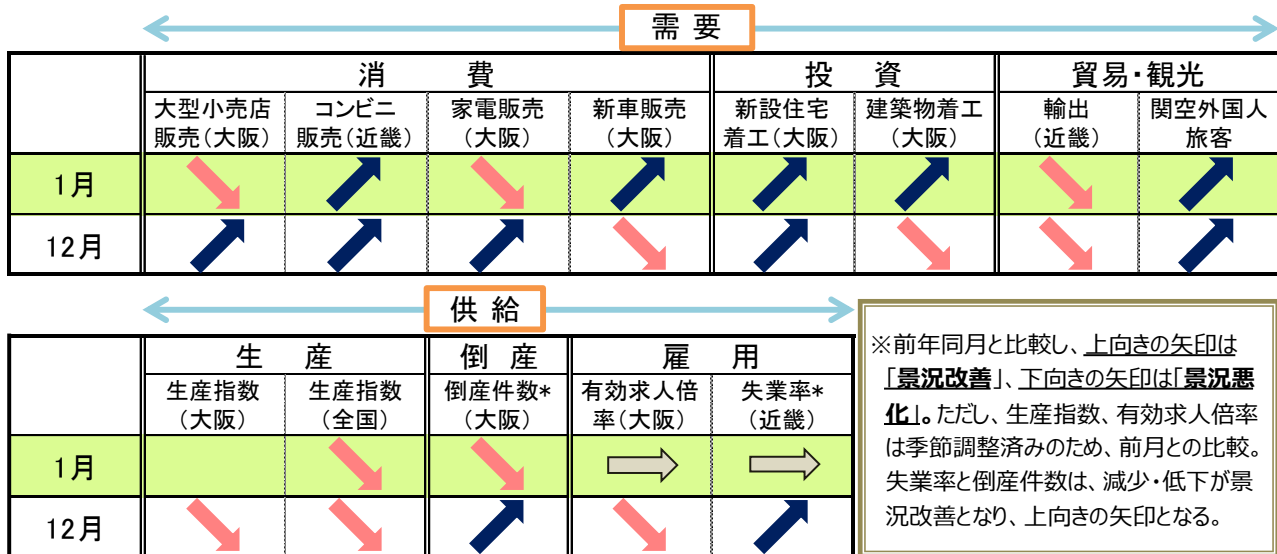
2019年3月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチセンター)

### 「大阪経済は、緩やかに拡大している」

**需要面**では、個人消費は、やや弱含んでいる。コンビニ販売額（近畿）、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、家電販売額は減少。家計消費支出（近畿）は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資も増加。輸出は、弱含んでいる。輸出額は減少。主要地域（国）向けでは、すべての地域向けで減少。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、弱い動きが続く。大阪府（12月）では、生産は低下、出荷も低下。近畿の生産（12月）は低下、全国の生産（1月）も低下。企業倒産では、件数が2ヶ月ぶりの悪化。雇用は、改善している。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間（12月）は減少。

**先行き**では、国際金融市場の動きや政治・経済リスクといった海外動向、また消費税率引き上げ前の需要変動の影響などについても、今後の注意が必要。



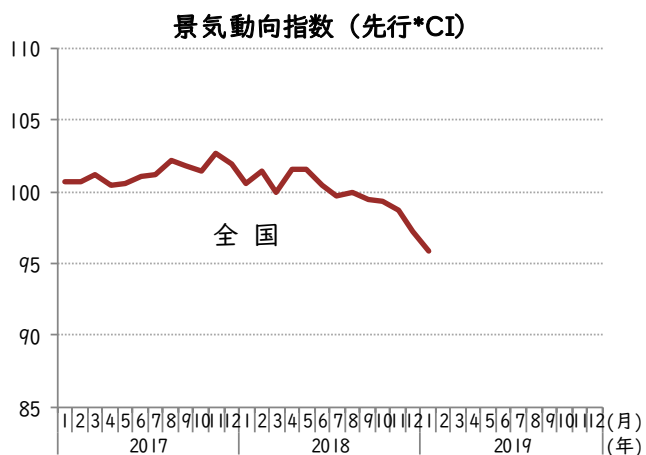
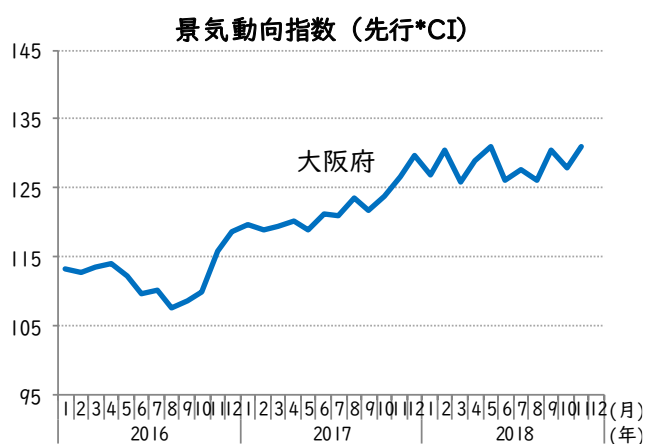
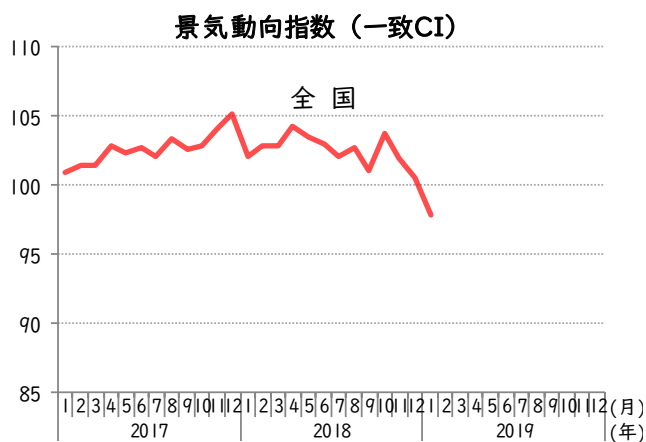
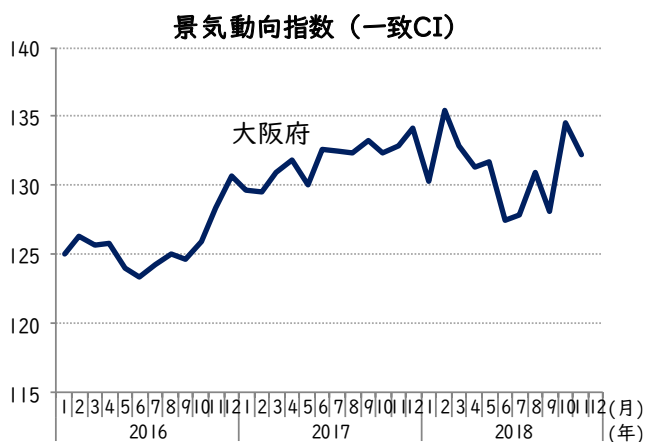
(参考)各機関の総括判断

	先々月 (2019年1月公表分) (2018年11月指標中心)	先月 (2019年2月公表分) (2018年12月指標中心)
大阪産業経済 リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに拡大している。	<u>大阪経済は、緩やかに拡大している。</u>
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。	近畿地域の経済は、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、緩やかな拡大を続けている。	関西の景気は、緩やかな拡大を続けている。

※以下、Pは速報値を表す

## [総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(11月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「有効求人倍率」、「製造工業生産指数」が低下に寄与。近畿(11月)では、一致CI、先行CIともに低下。全国(1月)では、一致CI、先行CIともに低下】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。大阪府・近畿は2010年=100。全国は2015年=100。

一致CI

	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	P 132.2		
近 畿	P 126.4		
全 国	101.9	100.6	97.9

先行CI

	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	P 131.1		
近 畿	P 114.9		
全 国	98.7	97.2	95.9

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、11月速報)

百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.52	0.53	▲0.60	0.51	▲0.42	▲1.51	▲0.40

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

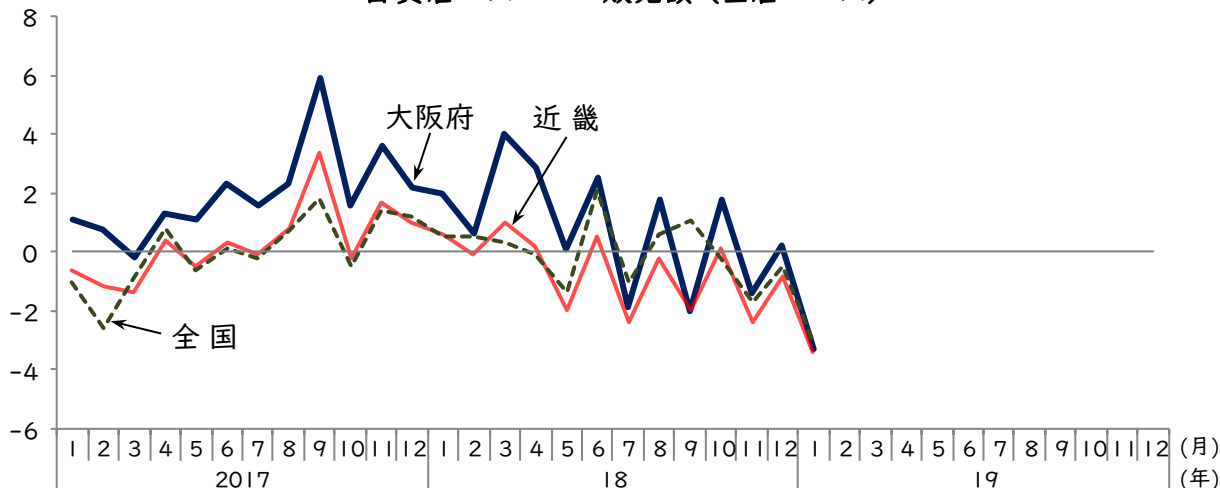
## [需要] 消費

**個人消費は、やや弱含んでいる**：コンビニ販売額（近畿）、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、家電販売額は減少。家計消費支出（近畿）は増加。

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月ぶりの減少】

(前年同月比、%)

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		'18年11月	12月	'19年1月
販売額(億円)	大阪府	1,555	2,012	P 1,519
	前年比(%)	▲1.4	0.2	P ▲3.3
前年比(%)	近畿	▲2.4	▲0.8	P ▲3.4
	全国	▲1.7	▲0.5	P ▲3.0

ドラッグストア販売額(全店)

		'18年11月	12月	'19年1月
前年比(%)	大阪府	6.8	5.1	P 2.0
	全国	4.8	4.3	P 5.3

ホームセンター販売額(全店)

		'18年11月	12月	'19年1月
前年比(%)	大阪府	1.9	3.8	P 0.9
	全国	▲2.2	▲0.7	P ▲2.2

百貨店販売額(全店)

		'18年11月	12月	'19年1月
前年比(%)	大阪府	0.8	2.5	P ▲3.3
	全国	▲2.3	▲2.5	P ▲4.9

スーパー販売額(全店)

		'18年11月	12月	'19年1月
前年比(%)	大阪府	▲3.8	▲2.7	P ▲3.4
	全国	▲1.4	0.7	P ▲2.0

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は71ヶ月連続の増加】

		'18年11月	12月	'19年1月
販売額(億円)	近畿	1,458	1,583	P 1,432
	大阪府	3.7	4.6	P 4.1
前年比(%)	近畿	2.5	3.6	P 3.5
	全国	2.0	2.8	P 2.6

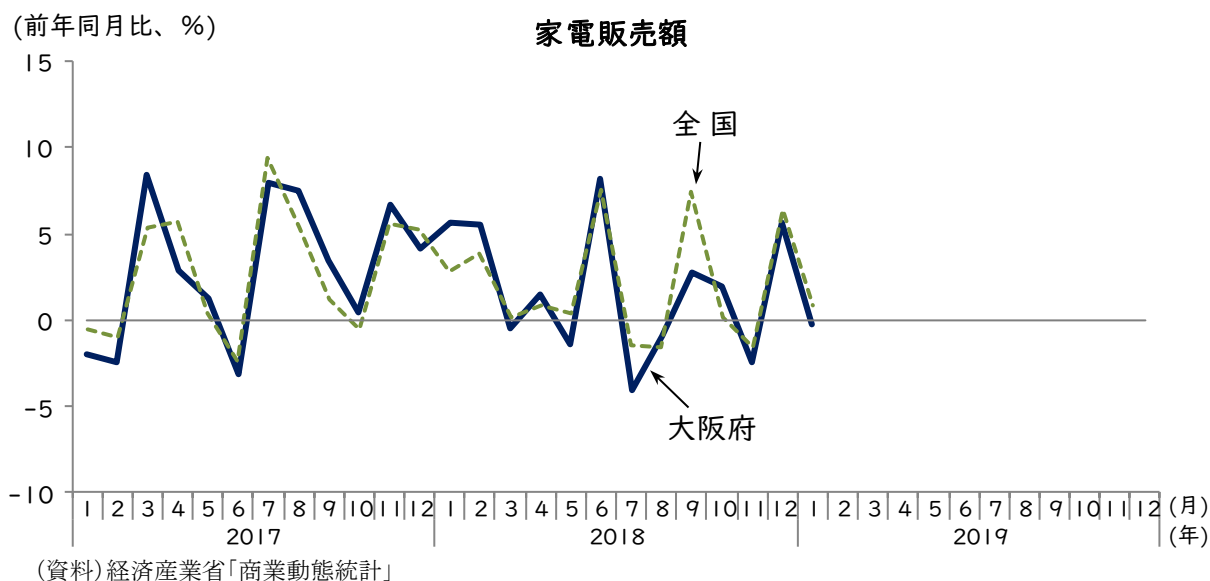
### ○家計消費支出【近畿は2ヶ月連続の増加】

		'18年11月	12月	'19年1月
円	近畿	278,246	319,777	290,858
前年比(%)	近畿	▲1.1	3.6	5.7
	全国	0.5	0.4	2.2

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

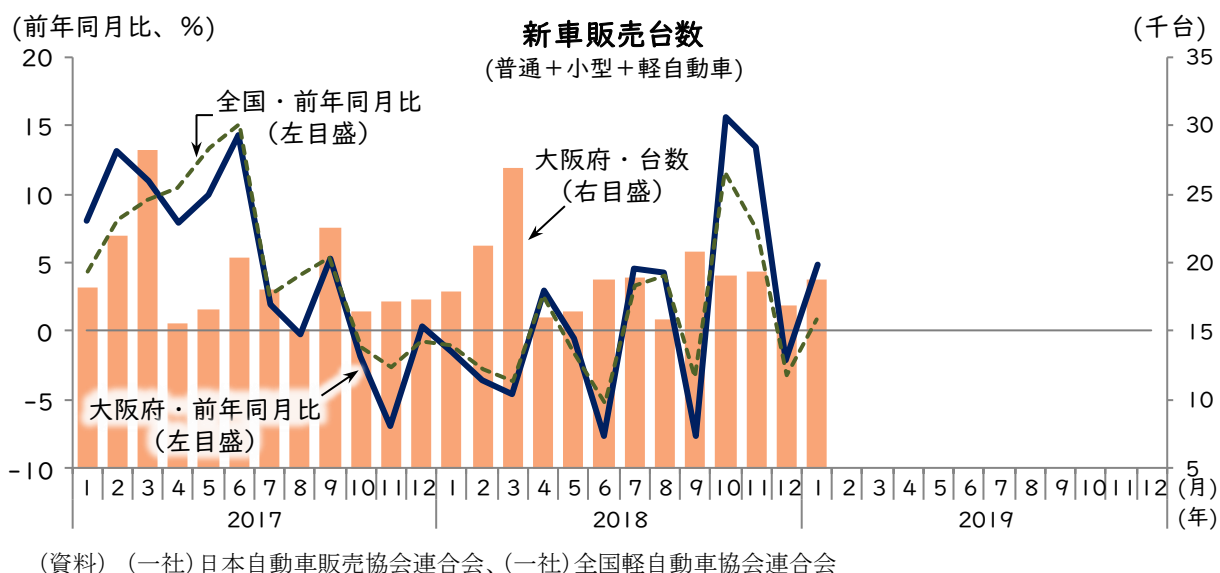
### ○家電販売額【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少】



家電大型専門店販売額(全店、百万円)

		'18年11月	12月	'19年1月
販売額	大阪府	33,041	50,165	36,817
前年比	大阪府	▲2.5	5.7	▲0.2
(%)	全国	▲1.6	6.4	0.9

### ○新車販売台数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加】



		'18年11月	12月	'19年1月
販売額(台)	大阪府	19,396	16,898	18,807
前年比	大阪府	13.4	▲2.2	4.8
(%)	全国	7.4	▲3.2	0.9

車種別の増減

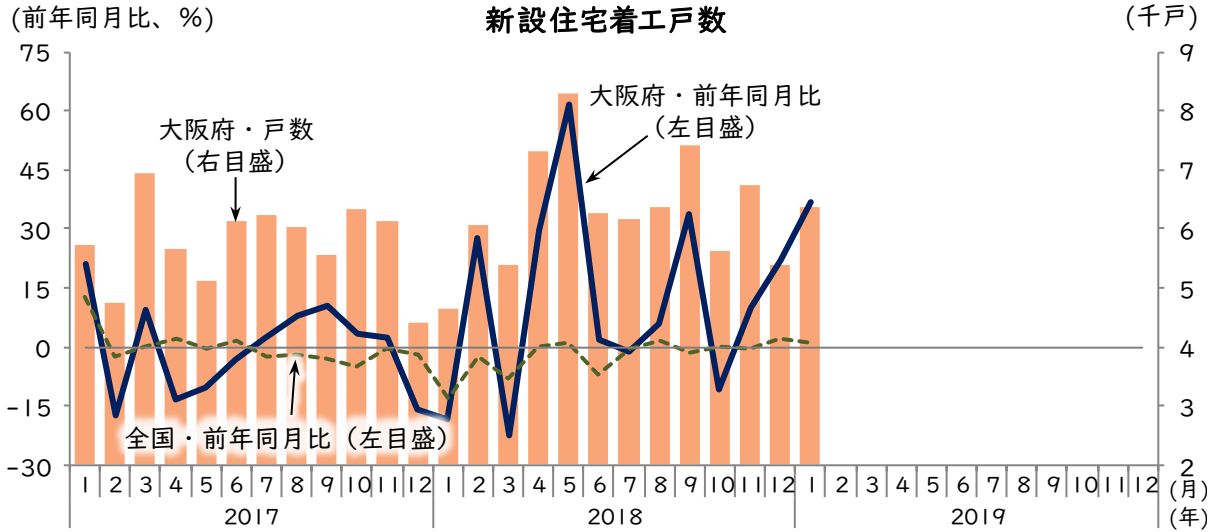
(大阪府、前年同月比(%))、2019年1月)

普通車	小型車	軽自動車
7.5	3.5	2.3

## [需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる：住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資も増加。

### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で3ヶ月連続の増加】



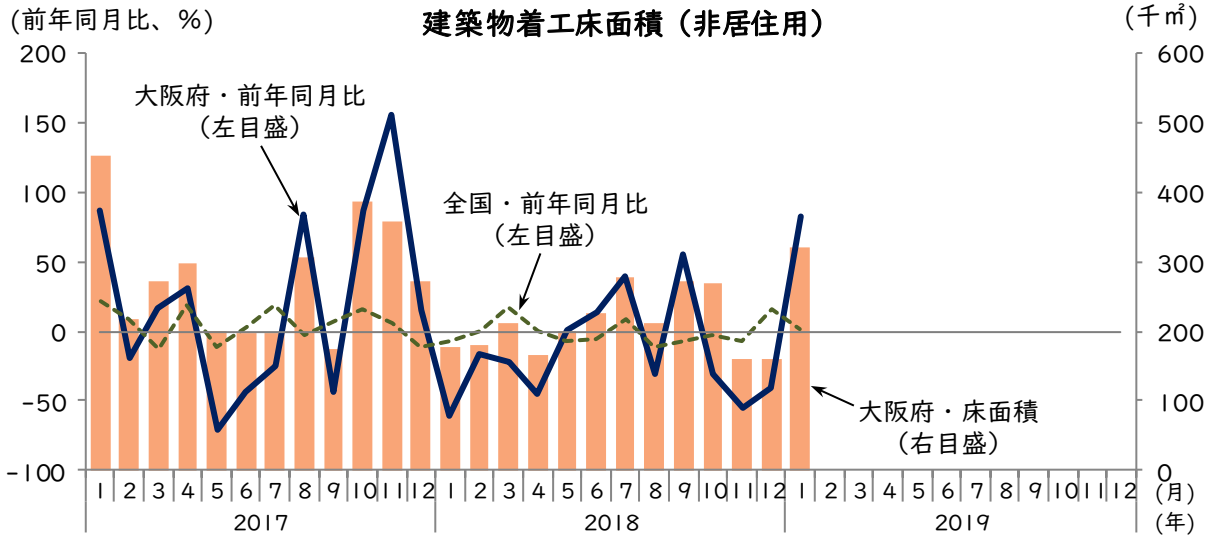
(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		'18年11月	12月	'19年1月
戸数	大阪府	6,729	5,398	6,380
前年比 (%)	大阪府	9.9	22.3	36.9
	全国	▲0.6	2.1	1.1

利用者関係別の増減  
(大阪府、前年同月比(%)、2019年1月)

持家	貸家	分譲
▲3.4	34.6	65.6

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で4ヶ月ぶりの増加】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		'18年11月	12月	'19年1月
千m <sup>2</sup>	大阪府	160	160	321
前年比 (%)	大阪府	▲55.3	▲41.3	82.4
	全国	▲7.0	15.3	1.0

着工床面積の主な増減

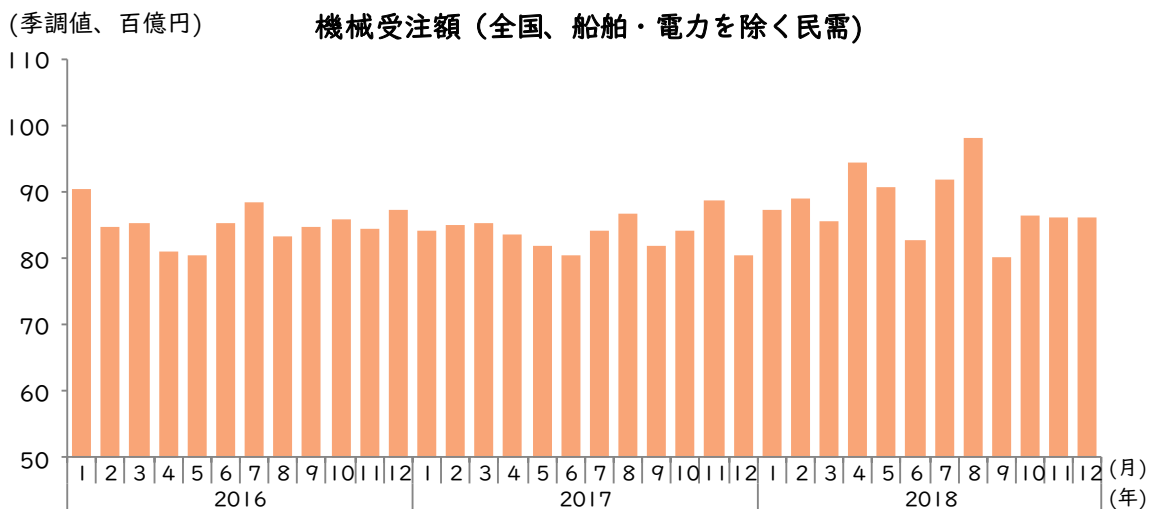
(大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、2019年1月)

増加	その他のサービス業(59.3)、医療、福祉(28.5)
減少	卸売業、小売業(▲17.9)、製造業(▲4.3)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## 【需要】 投資

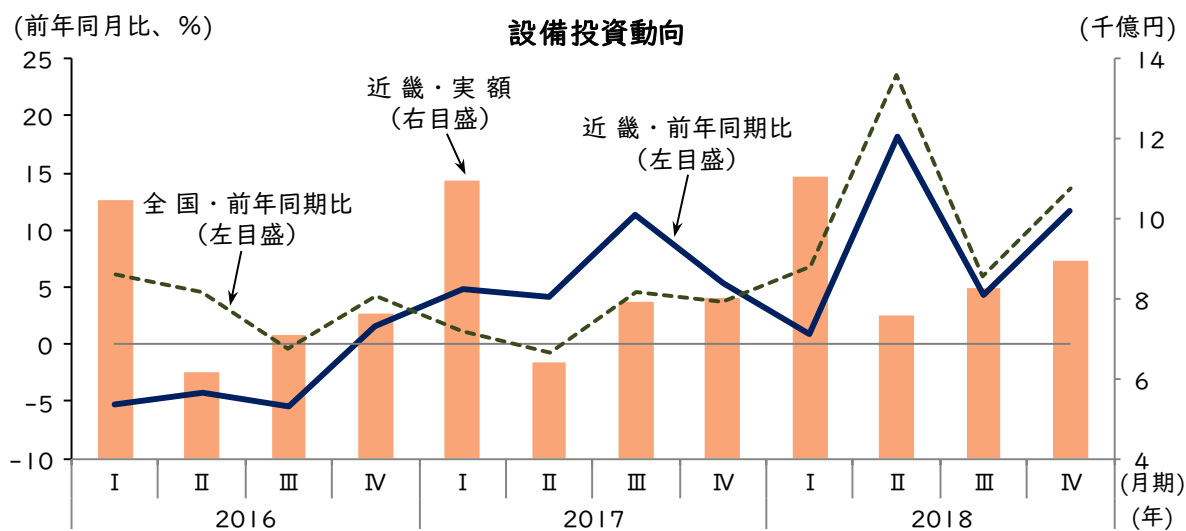
### ○機械受注額【12月(全国)は前月比で2ヶ月連続の減少】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	'18年10月	11月	12月
全国(億円)	8,632	8,631	8,626

### ○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で9期連続の増加。「製造業」、「非製造業」ともに増加】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		'18年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,587	8,258	8,954
前年同期比 (%)	近畿	18.2	4.3	11.7
	全国	23.5	6.0	13.7

### ○公共工事請負金額【6ヶ月ぶりの増加】

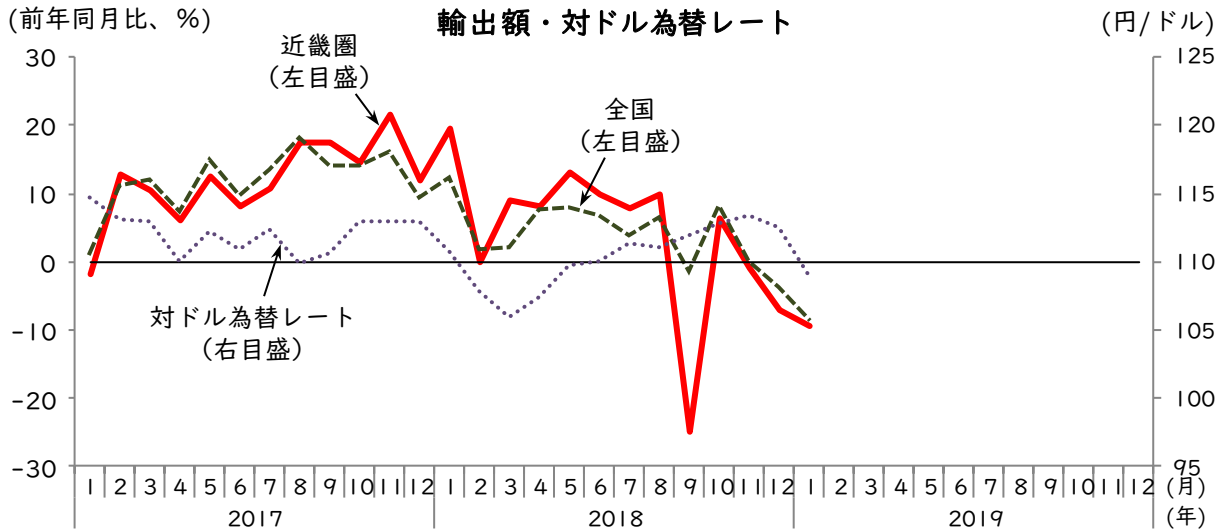
		'18年11月	12月	'19年1月
億円	大阪府	300	263	274
前年比 (%)	大阪府	▲23.1	▲35.0	56.6
	全国	▲5.2	4.6	▲4.1

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

**輸出は、弱含んでいる**：輸出額は減少。主要地域（国）向けでは、すべての地域向けで減少。輸入額は増加。

○輸出額【3ヶ月連続の減少。「科学光学機器」、「半導体等電子部品」などが減少。主要地域（国）向けでは、すべての地域向けで減少】



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

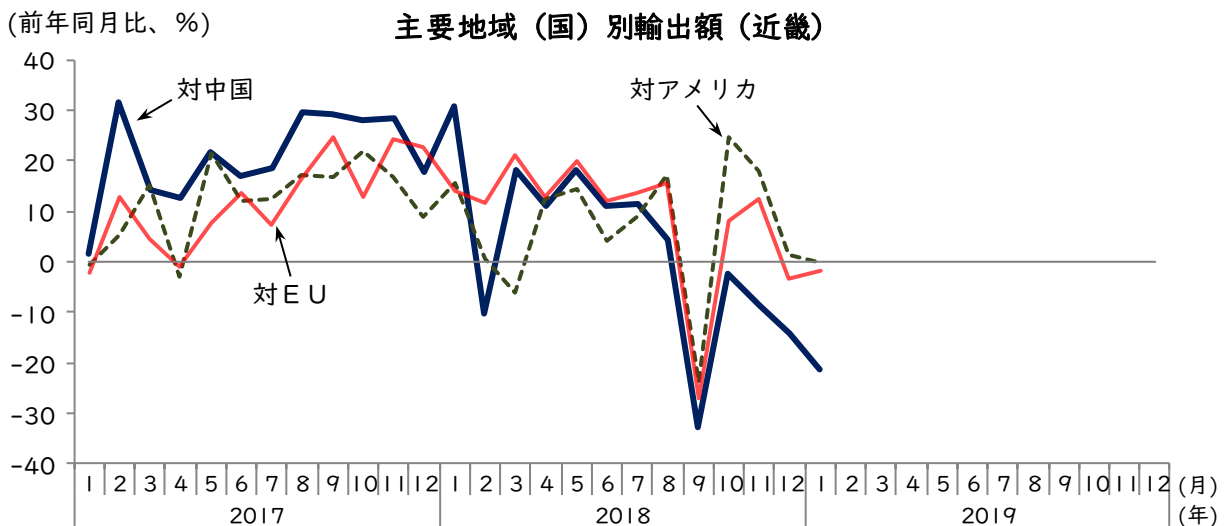
※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		'18年11月	12月	'19年1月
輸出額(億円)	近畿	15,050	14,748	P 11,798
前年比 (%)	近畿	▲1.0	▲7.2	P ▲9.5
	全国	0.1	▲3.9	▲8.4
為替レート(円/ドル)		113.37	112.45	108.95

### 品目別の主な増減

(近畿、前年同月からの増減額順、2019年1月)

増加	鉱物性燃料、無機化合物
減少	科学光学機器、半導体等電子部品



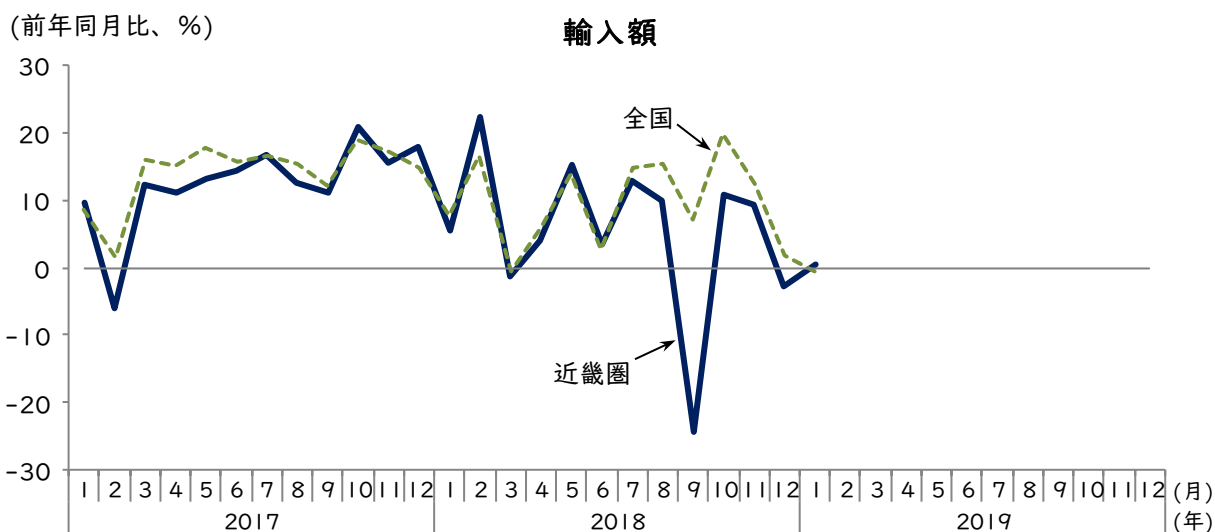
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、2019年1月

アジア(含む中国)	▲14.7	3ヶ月連続の減少
中国	▲21.4	5ヶ月連続の減少
EU	▲1.9	2ヶ月連続の減少
アメリカ	▲0.1	4ヶ月ぶりの減少

## [需要] 貿易・観光

### ○輸入額【2ヶ月ぶりの増加。「衣類及び同附属品」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加】



(資料)大阪税関「貿易統計」

#### 品目別の主な増減

(近畿、前年同月からの増減額順、2019年1月)

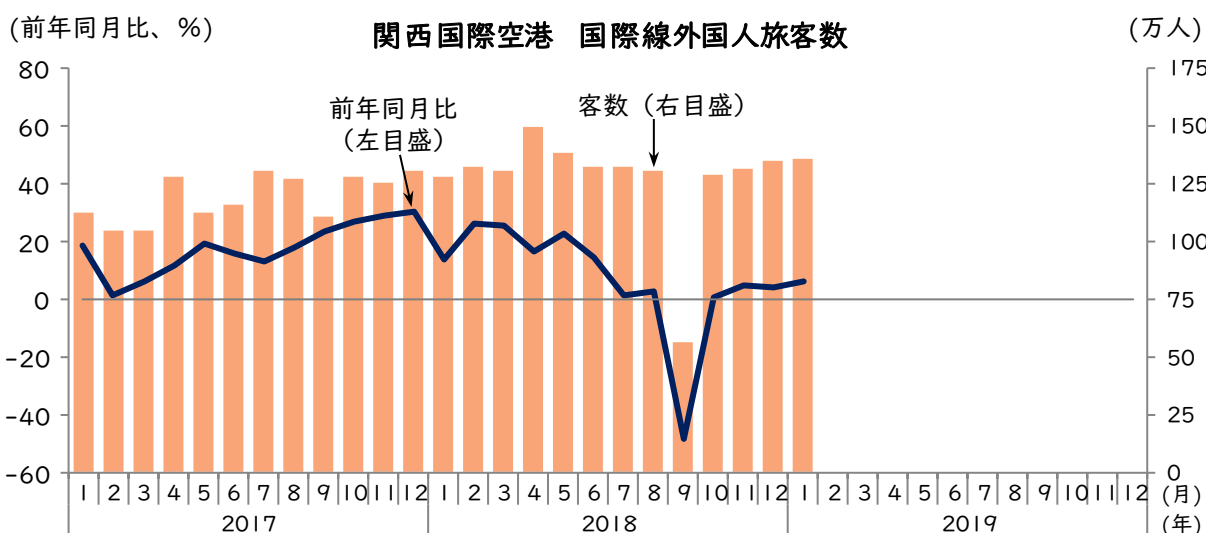
		'18年11月	12月	'19年1月
輸入額(億円)	近畿	14,859	P 12,953	P 13,638
前年比 (%)	近畿	9.5	P ▲2.9	P 0.4
	全国	12.5	1.9	P ▲0.6

増加	衣類及び同附属品、天然ガス及び製造ガス
減少	たばこ、医薬品

#### 主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、2019年1月

アジア(含む中国)	5.3	2ヶ月ぶりの増加
中国	7.1	2ヶ月ぶりの増加
E U	▲15.7	3ヶ月ぶりの減少
アメリカ	29.6	4ヶ月連続の増加

### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で4ヶ月連続の増加】



(資料)関西エアポート(株)

	'18年11月	12月	'19年1月
万人	131.2	P 135.3	P 136.1
前年比(%)	4.7	P 3.8	P 6.4

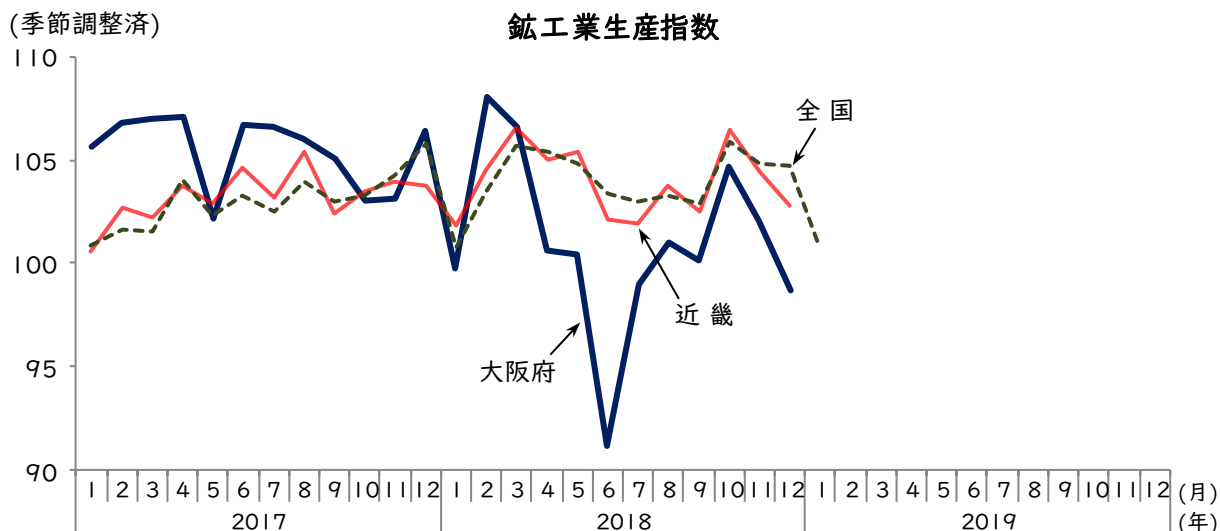


## [供給] 生産・企業活動

**生産動向は、弱い動きが続く**：大阪府（12月）では、生産は低下、出荷も低下。近畿の生産（12月）は低下、全国の生産（1月）も低下。企業倒産では、件数が2ヶ月ぶりの悪化。

○**鉱工業生産指数【大阪府（12月）は2ヶ月連続の低下。「金属製品」、「はん用・生産用・業務用機械」などが低下。近畿（12月、鉱工業）は2ヶ月連続の低下。全国（1月、鉱工業）は3ヶ月連続の低下】**

(季節調整済)



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数で、2010年=100。全国・近畿は2015年=100。

### 鉱工業生産指数

季調済	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	102.1	P 98.7	
近 畿	104.4	102.8	
全 国	104.8	104.7	P 100.8

### 鉱工業出荷指数

季調済	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	104.5	P 99.4	
近 畿	104.3	102.7	
全 国	103.3	103.3	P 99.2

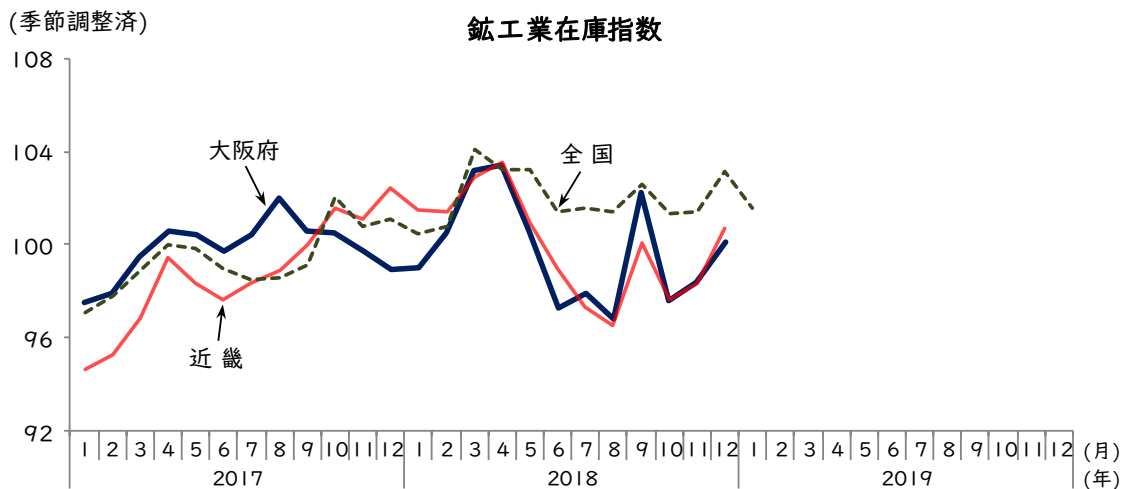
### 生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

上昇	<b>電子部品・デバイス(37.0)</b> : 液晶素子
	<b>鉄鋼(5.0)</b> : 鍛鋼品、普通鋼冷延広幅帯鋼
	<b>輸送機械(1.2)</b> : 小型乗用車、自動車用駆動伝導・操縦装置部品
低下	<b>金属製品(▲14.0)</b> : 橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	<b>はん用・生産用・事務用機械(▲5.6)</b> : 特殊鋼切削工具、プラスチック用金型
	<b>化学(▲2.9)</b> : 医薬品、フルオロカーボン

## [供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(12月)は2ヶ月連続の上昇。「はん用・生産用・業務用機械」、「鉄鋼」などが上昇。近畿(12月)は2ヶ月連続の上昇。全国(1月)は3ヶ月ぶりの低下】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
 ※大阪府は製造工業指数で、2010年=100。全国・近畿は2015年=100。

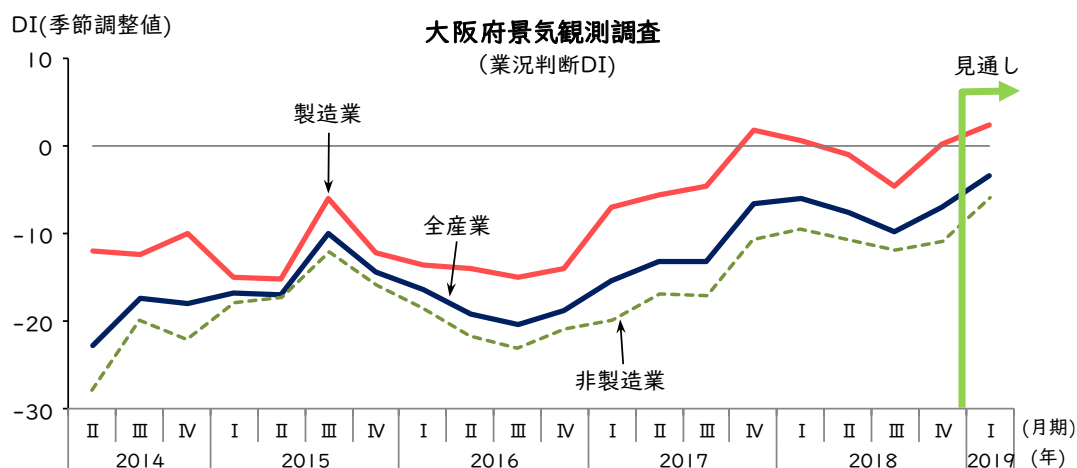
### 在庫指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

季調済	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	98.4	P 100.1	
近 畿	98.3	100.7	
全 国	101.4	103.1	P 101.6

上 昇	<b>はん用・生産用・業務用機械(3.8)</b> : ショベル系掘削機械、はん用内燃機関
	<b>鉄鋼(3.4)</b> : 亜鉛めっき鋼板、鋼半製品
	<b>化学(1.9)</b> : ポリプロピレン、合成アセトン
低 下	<b>繊維(▲2.7)</b> : ニット製下着・補整着・寝着類、織物製外衣
	<b>(旧)電気機械(▲1.0)</b> : 電気計器、HID ランプ
	<b>金属製品(▲1.1)</b> : 飲料用アルミニウム缶、電気溶接棒

○**企業の業況判断【10~12月期(全産業)は3期ぶりの改善】**

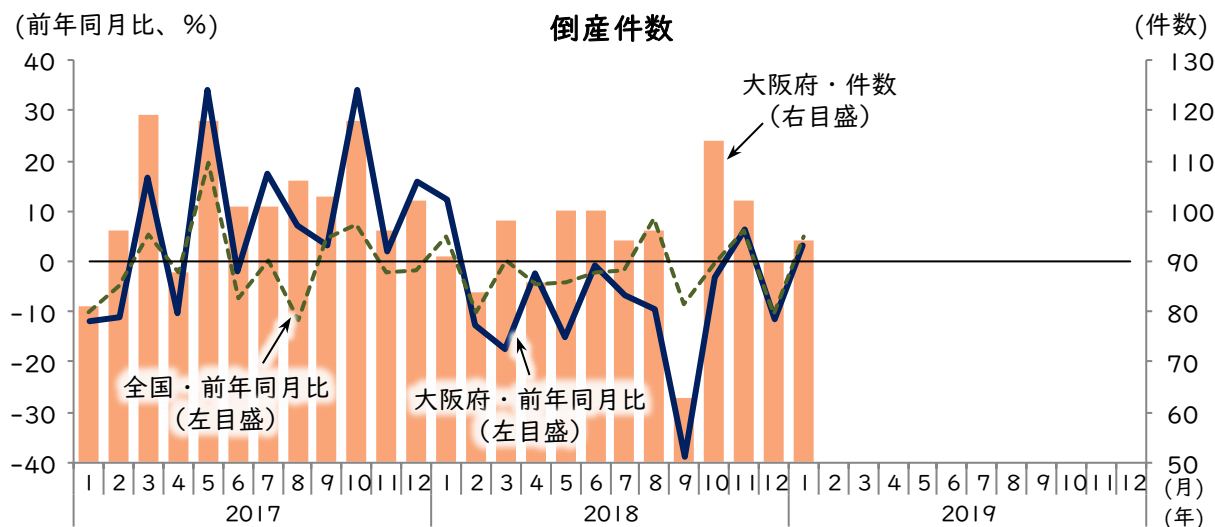


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	30年4~6月	7~9月	10~12月	31年1~3月 (見込み)
製造業	▲0.9	▲4.6	0.3	2.4
非製造業	▲10.7	▲11.8	▲10.8	▲5.9
全産業	▲7.4	▲9.8	▲7.0	▲3.2

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月連続の減少(改善)】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		'18年11月	12月	'19年1月
件	大阪府	102	90	94
前年比 (%)	大阪府	6.2	▲11.7	3.2
	全国	6.0	▲10.6	4.8

負債金額

		'18年11月	12月	'19年1月
億円	大阪府	65	68	71
前年比 (%)	大阪府	11.1	▲58.0	▲37.0
	全国	▲16.7	▲79.4	61.0

主要業種の倒産件数(大阪府)

	'18年11月	12月	'19年1月
建設業	15	9	14
製造業	18	10	13
卸売業	11	13	14
小売業	14	15	5
サービス業他	35	30	34

主な倒産(大阪府、2019年1月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
書籍販売	1,800	販売不振
倉庫業	900	設備投資過大
省エネ機器製造販売設置ほか	450	放漫経営

## [供給] 雇用

**雇用は、改善している**：近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。  
所定外労働時間（12月）は減少。

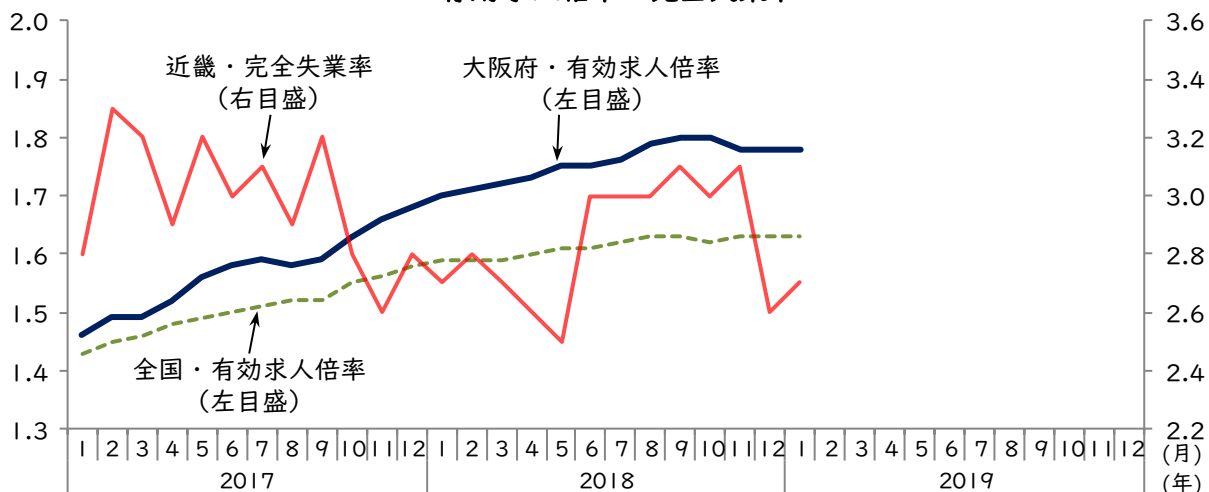
### ○完全失業率【近畿は横ばい】

有効求人倍率【大阪は横ばい】、新規求人倍率【大阪は上昇】

(季節調整済、倍)

有効求人倍率・完全失業率

(原数値、%)



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	'18年11月	12月	'19年1月
%	3.1	2.6	2.7
前年同月差	0.5	▲0.2	0.0

完全失業率(全国、季節調整値)

	'18年11月	12月	'19年1月
%	2.5	2.4	2.5
前月差	0.1	▲0.1	0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	'18年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	2.8	3.4	3.6
近 畿	2.7	3.0	2.9
全 国	2.5	2.5	2.4

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	1.78	1.78	1.78
全 国	1.63	1.63	1.63

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	'18年11月	12月	'19年1月
大阪府	2.82	2.77	3.01
全 国	2.40	2.40	2.48

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減

(大阪府、前年同月比(%))

	'18年11月	12月	'19年1月
産業計	6.1	▲5.9	6.1
建設業	25.8	▲3.7	21.0
製造業	1.1	▲5.5	3.1
卸売業、小売業	4.3	▲10.3	▲2.4
宿泊業、飲食サービス業	3.8	▲5.8	▲3.9
医療、福祉	3.9	▲6.5	11.6

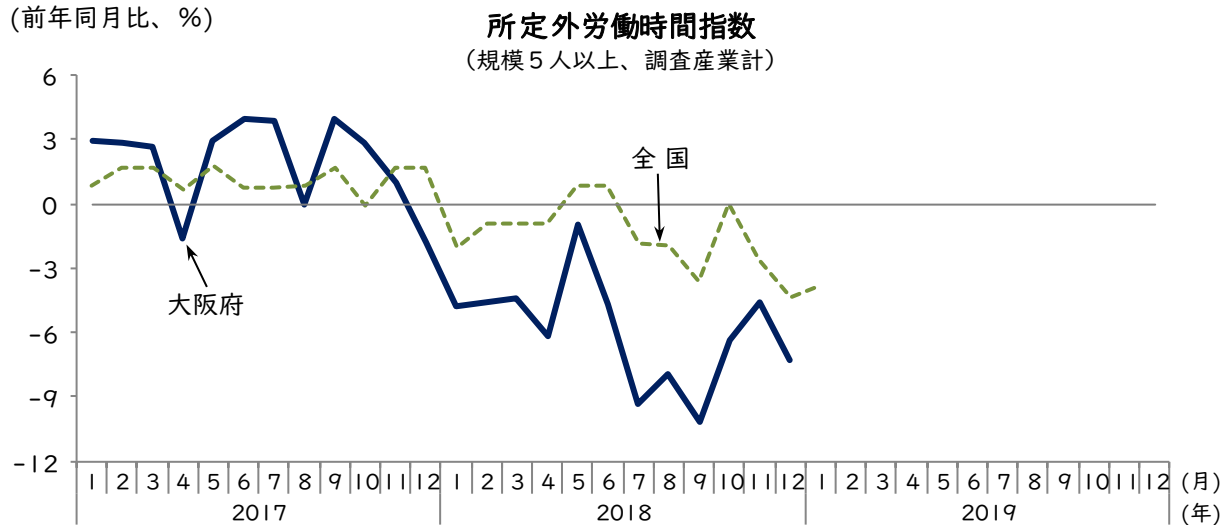
(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

### ○所定外労働時間指数【大阪府(12月)は13ヶ月連続の減少】

(前年同月比、%)

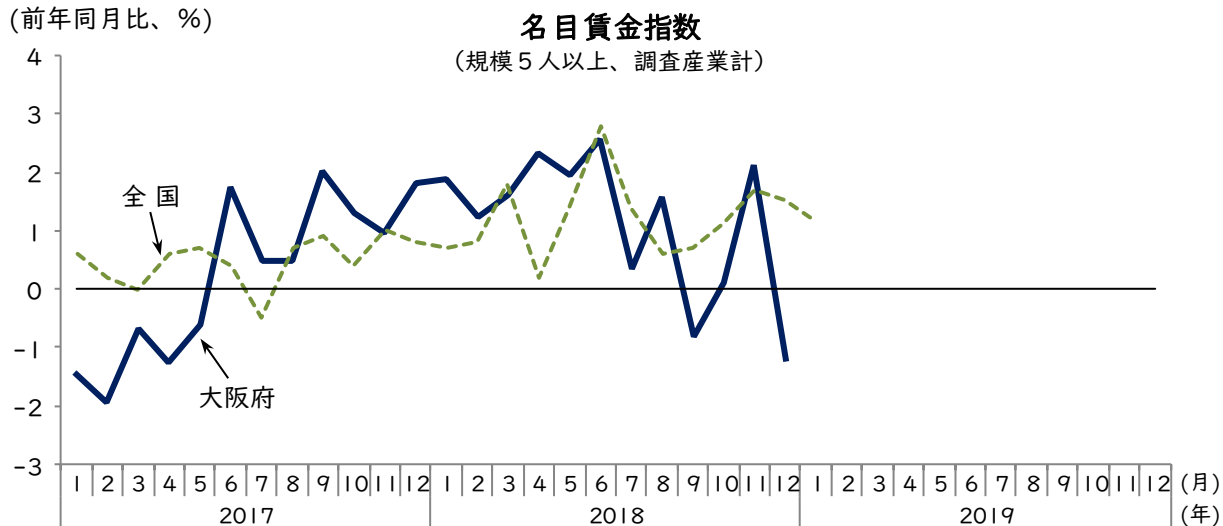


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		'18年11月	12月	'19年1月
指数	大阪府	100.0	96.2	
前年比 (%)	大阪府	▲4.6	▲7.3	
	全国	▲2.6	▲4.3	P ▲3.8

### ○名目賃金指数【大阪府(12月)は3ヶ月ぶりの減少】

(前年同月比、%)



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		'18年11月	12月	'19年1月
現金給与総額(円)	大阪府	287,907	616,185	
前年比 (%)	大阪府	2.1	▲1.2	
	全国	1.7	1.5	P 1.2

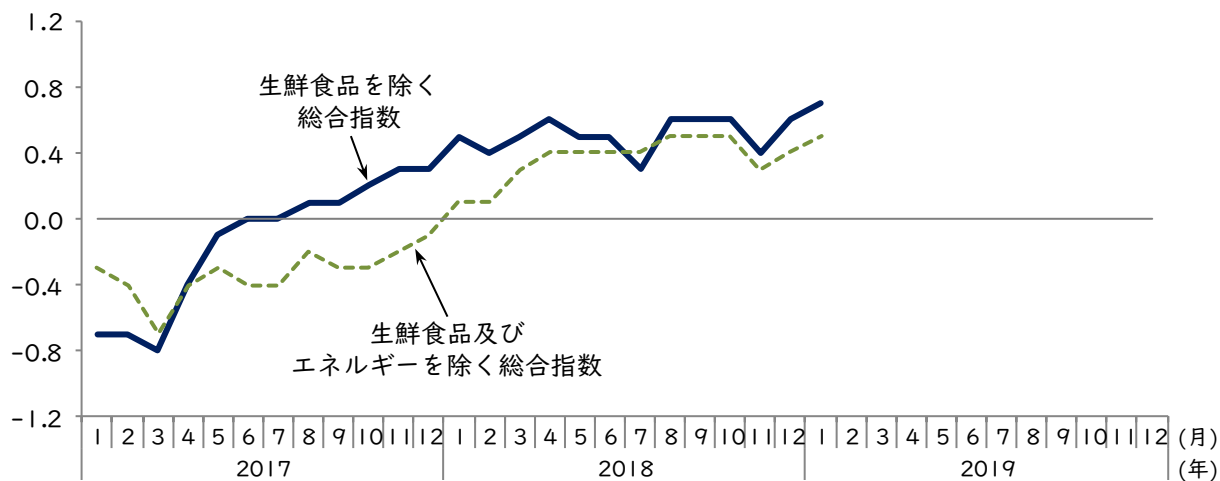
※前年比は名目賃金指数(2015年=100)による。

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 18 ヶ月連続の上昇。「食料」、「光熱・水道」などが上昇に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、前年比が13ヶ月連続の上昇】

(前年同月比、%)

### 消費者物価指数 (大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」  
※2015年=100。

#### 総合指数

		'18年11月	12月	'19年1月
指数	大阪市	100.7	100.6	P 100.8
前年比 (%)	大阪市	0.4	0.1	P 0.1
	全国	0.8	0.3	0.2

#### 生鮮食品を除く総合指数

		'18年11月	12月	'19年1月
指数	大阪市	100.3	100.3	P 100.3
前年比 (%)	大阪市	0.4	0.6	P 0.7
	全国	0.9	0.7	0.8

#### 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		'18年11月	12月	'19年1月
指数	大阪市	100.5	100.6	P 100.5
前年比 (%)	大阪市	0.3	0.4	P 0.5
	全国	0.3	0.3	0.4

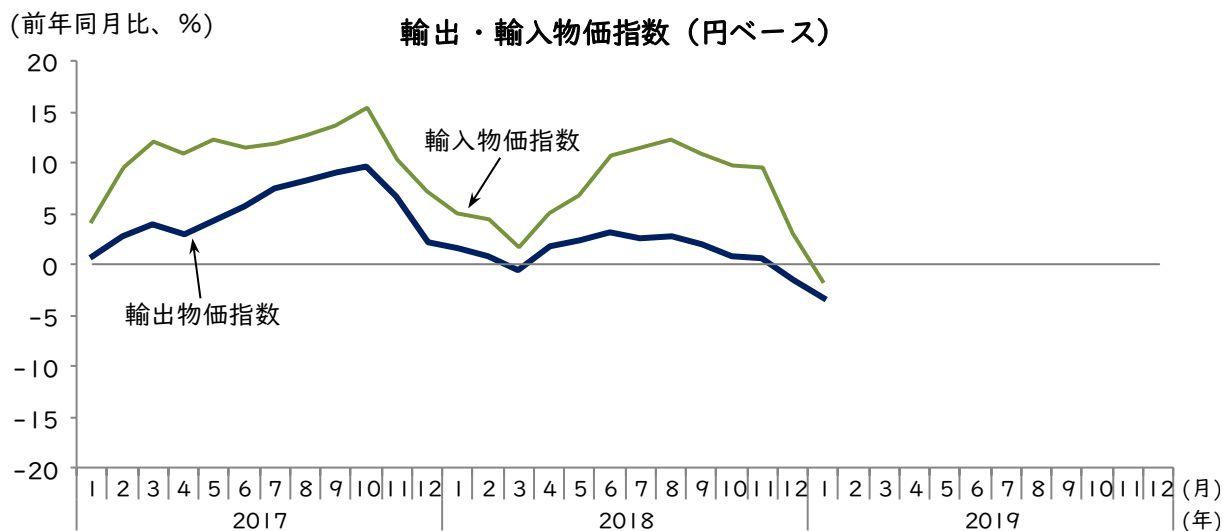
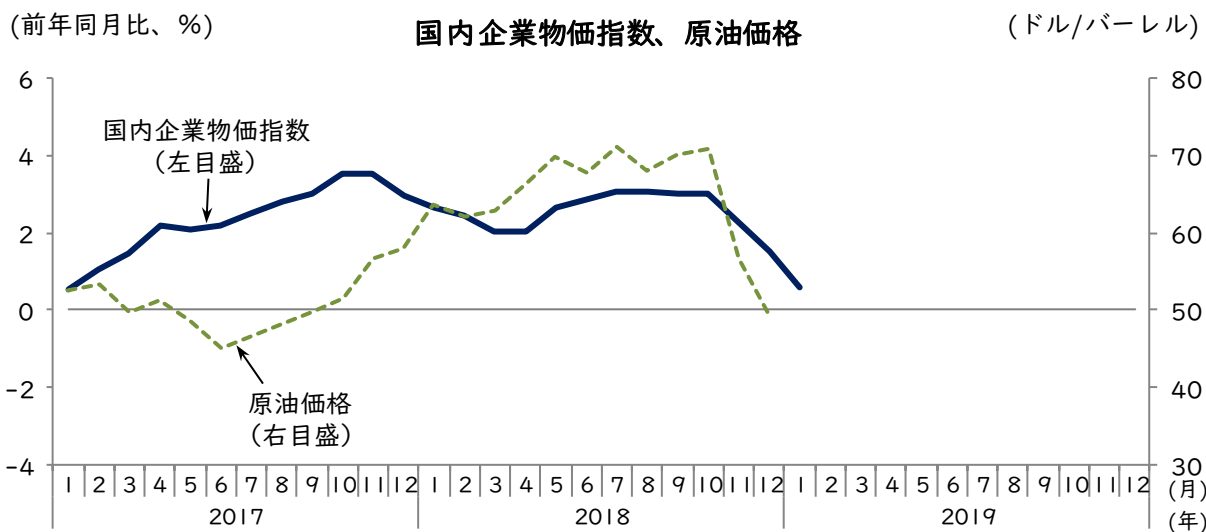
#### 総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、2019年1月速報)

上昇	<b>食料(1.2)</b> : 野菜・海藻(きゅうり、レタス、だいこん)、魚介類(さけ、いわし、まぐろ)
	<b>光熱・水道(0.6)</b> : ガス代(都市ガス代)
	<b>諸雑費(0.1)</b> : 特になし
低下	<b>被服及び履物(▲3.8)</b> : 洋服(婦人用スーツ[秋冬物、中級品]、婦人用コート)、他の被服(マフラー、ネクタイ、帽子)
	<b>家具・家事用品(▲1.0)</b> : 室内装備品(カーペット、照明器具)、家庭用耐久財(電気洗濯機[全自動洗濯機]、電気掃除機、温風ヒーター)
	<b>保健医療(▲0.2)</b> : 保健医療用品・器具(眼鏡、生理用ナプキン、血圧計)

## [その他] 物価

### ○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇幅が縮小】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、OPEC「Monthly Oil Market Report」  
※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

#### 企業物価指数

	'18年11月	12月	'19年1月
国内企業物価指数	102.1	101.5	P 100.9
輸出物価指数	98.0	96.3	P 93.9
輸入物価指数	104.4	100.2	P 95.2

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

#### 原油価格 (WT I)

	'18年11月	12月	'19年1月
ドル/バーレル	56.75	49.52	—

#### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目 (2019年1月速報、寄与度 (%))

<b>電力・都市ガス・水道(0.05)</b> : 産業用特別高圧電力、業務用高圧電力、産業用高圧電力
<b>パルプ・紙・同製品(0.02)</b> : 塗工印刷用紙、上級印刷紙、段ボール箱
<b>石油・石炭製品(▲0.38)</b> : ナフサ、C重油、ガソリン
<b>化学製品(▲0.16)</b> : エチレン、プロピレン、アクリロニトリル